

令和2年度 学校図書館活用実践報告

新潟市立葛塚東小学校

1 葛塚東小学校の実態と課題

(1) 学校図書館の「学習センター」「情報センター」「読書センター」としての機能

| | | |
|---|--|---|
| 〈学習センター〉 <ul style="list-style-type: none">・ブルーBOXの整備と貸出・図書を活用した学習の支援・分類番号や配置図・配架についての掲示 | 〈情報センター〉 <ul style="list-style-type: none">・新聞コーナーの設置・図書資料の整備など担任と連携した学習支援 | 〈読書センター〉 <ul style="list-style-type: none">・図書の時間の確保・図書紹介など環境整備・図書委員会の企画・地域ボランティアによる読み聞かせ |
|---|--|---|

(2) 〈学習センター・情報センター〉としての課題

- 自校の現在の学習や活動に合った図書館活用年間計画がない。
- 読書センターとしての機能と比べると、学習センターや情報センターとしての機能が弱い。
- 中学校との連携が今まで十分ではなかったため、調べ学習の進め方など子どもたちの学びの系統性が弱い。

2 今年度の取組

小中で連携して図書館活用推進に取り組むに当たり、目指す「探究的な学習を進める姿」を自分の追究課題に対し、図鑑や本、インターネットを活用して調べたり考えたりしたことを整理して、まとめ、伝えようとする姿とした。今までは、小中で情報交換・連携が十分ではなく、それぞれの学校で取組を進めてきたため、子どもたちが学びの継続を意識できるものとなっていなかった。そこで、「調べ学習の進め方」を共有し、学年の発達段階に応じた指導を継続していくことを連携の柱にすることとした。

また、今年度はコロナ禍のために、自校では図書館で1クラスの子どもたちが全員で学習することが座席の関係で難しく、休み時間に子どもたちが図書館で自由に本を選ぶこともできなかった。取り組める内容に非常に制約がある中で、今年度は以下の点に重点をかけて取り組んだ。

(1) 「調べ学習の進め方」を中学校区で共有

- ①「調べ学習の進め方」「調べ学習アイテム」の掲示
- ②「学校図書館教育全体計画」への中学校の位置付け
- ③「調べ学習」に焦点を当てた中学校の授業見学

(2) 図書館活用のための情報を全職員で共有・活用

- ①「図書館活用年間計画」の作成と授業への位置付け
- ②ブルーBOX・オレンジBOXの図書リストの共有
- ③ブルーボックスの再整備
- ④司書と職員との連携を図るためのリクエストカードの活用
- ⑤図書・情報シートによる授業実践の共有

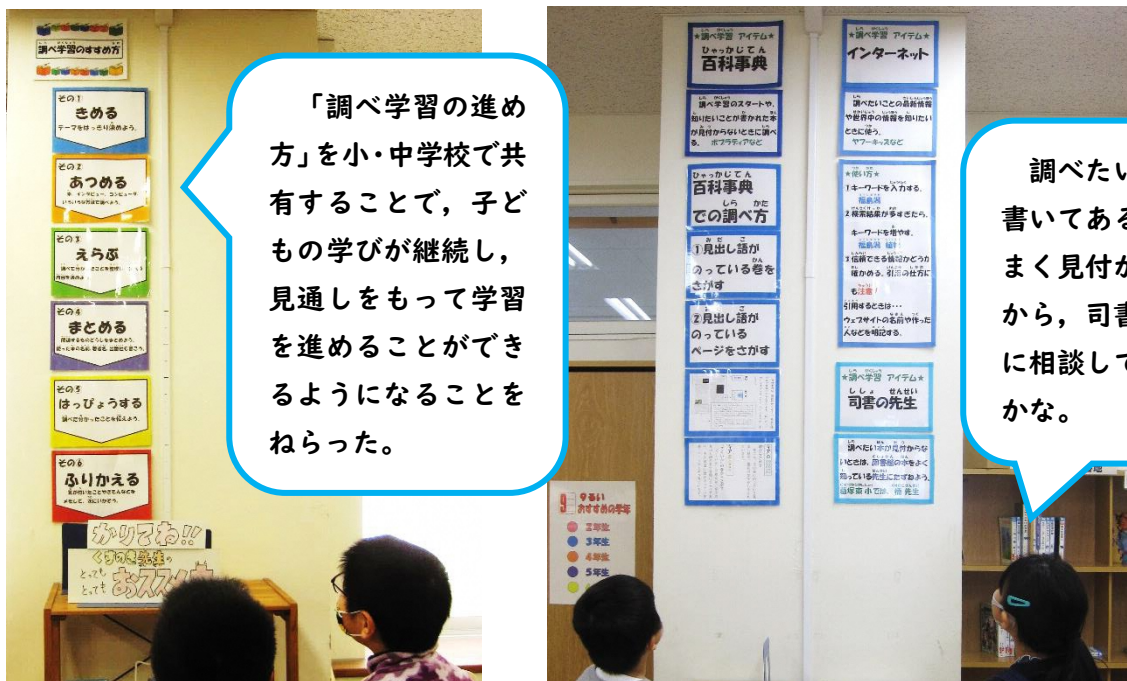
3 具体的な実践

(1) 「調べ学習の進め方」を中学校区で共有

① 「調べ学習の進め方」「調べ学習アイテム」の掲示

小・中学校で共有した「調べ学習の進め方」や、調べ学習を進める上で必要な百科事典の引き方やインターネットの使い方、司書に尋ねることなどを「調べ学習アイテム」として図書館に掲示した。今までは本の分類や配置図などの掲示物だけだったので、より「調べ学習」のヒントになる掲示物を増やし、繰り返し見てもらうことで、身に付けていく支援にしたいと考えた。

また、「調べ学習の進め方」は、中学校と同じ過程だが、発達段階を考慮して1年生でも理解できるように分かりやすい言葉にした。また「調べ学習アイテム」は、国語の教科書に載っている内容を掲示した。各学年の国語の教科書を確認して整合性を図ることで、子どもたちの学びが継続的なものになるよう配慮した。



② 「学校図書館教育全体計画」への中学校の位置付け

「学校図書館教育全体計画」を見直すに当たり、小中学校で学びの継続を図って子どもたちの指導ができるように、中学校の図書館教育の目標を掲載する欄を新しく設けた。自分が担任している子どもたちが、義務教育を終えるまでにどんな力を付けていくのかを見通すことで、図書館教育において今現在取り組むべき内容がより明らかになるので、これを全職員で共有する全体計画に位置付け、意識できるようにした。

③ 「調べ学習」に焦点を当てた中学校の授業を参観

10月に、中学校の図書館担当教諭と司書がTTで行った国語科の授業を参観させていただいた。2年生の「短歌」を味わい深めるために「問い」を図書スペースで調べる学習であった。担当教諭は、生徒が自分で本を探すことをねらい、レファレンスカードを使って司書から調べるヒントをもらうことができる場を設定していた。授業では、生徒は司書からの確かなアドバイスをもらい、図書を探し出して学習を進めていた。小学校では、コロナ禍で今年は実践が難しいだろうとレファレンスカードの導入を見送ったが、子どもたちが図書を選び出す力を育てるの必要性を感じた。

のもあるなど、全職員で図書情報を共有していたとは言えない状況であった。そこで、各学年の「図書館活用年間計画」を作成するに当たり、どの教科のどの単元で、「探究的な学習」が考えられるか、そのためにどのような図書BOXが準備できるかを明らかにした内容にした。

今年度は、指導要領の本格実施や教科書の変更なども重なったので、作成するにはとてもよい時期であったと言える。今後も、学期末などに各学年に追加訂正をしてもらい、活用できる計画になるように更新を続けていきたいと考えている。

②ブルーBOX・オレンジBOXの図書リストの共有

自校には、学習に活用できる図書が図書館前の廊下にブルーBOXとしてまとめて置いてあり、使用する学年が教室前の廊下などに運んで活用している。今まで、BOX内の図書リストや市立図書館から貸し出されるオレンジBOXの情報は、司書からもたらされるまで待っていることが多かった。しかし図書リストを共有することで、より双方向の交流ができると考え、共有フォルダー内の図書館教育の中に、ブルーBOXとオレンジBOXの図書リストを入れた。またリストをファイルに綴じて職員室にも置き、自由に見られるようにした。職員から「オレンジBOXの〇〇をお願いしてほしい」など、リストを確認してからのリクエストが増えた。



③ブルーBOXの再整備

今年度は指導要領や教科書の変更により、学習で必要となる図書が変わったので、それに合わせてブルーBOXを再整備した。

ある時1年の担任から、国語で外国の昔話・おとぎばなしを並行読書したいとリクエストがあった。「オレンジBOX」の「いろいろな国や地域の昔話」を薦めたが、3年生が対象でやや難しいと話があり、ブルーBOXとしてリストを作成して図書を準備することにした。このように双方向の交流により、学習に合う図書が提供できるようになった。また、今まではブルーBOXにないものを集めて学年に貸し出しても、リストを作ってこなかった。しかし、今後も利用が予想される場合は、準備ができるブルーBOXとしてリストアップしていくことにした。これからも図書を学習に活用できるよう、職員間で連携し、適宜見直しを図っていきたいと考えている。



④司書と職員との連携を図るためのリクエストカードの活用

今まではメモや口頭で司書に図書を依頼することが多かった。即時性を考えるとそのよさもあるが、勤務時間が限られている司書との連携をより密にするために、リクエストカードを使うことにした。必要とする図書の内容をより共有しやすくなることをねらった。

| *リクエストカード* | | | |
|-----------------|--|-------|-----|
| 学年 | 4年 | 教科 | 国語 |
| 単元名 | リーフレットで伝統的工芸品の魅力を伝えよう 『世界にほこる和紙』 『百科事典での調べ方』『伝統工芸のよさを伝えよう』 | | |
| 具体的な書名 または内容 | ・新潟県の伝統的工芸品について作り方や歴史、よさなどが載っている本。 ブルーBOX「伝統工芸品」 オレンジBOX「国語『伝統工芸』」 ・百科事典の引き方についてTTで指導もお願いします。 | | |
| 冊数 | 30冊以上必要 | 使用開始日 | 11月 |
| 担当者 | 〇〇〇 | | |

⑤ 図書・情報活用シートによる授業実践の共有

今までも、授業で図書を活用したものは多かったが、その情報や子どもたちへの指導資料などが共有されてこなかった。そこで、共有フォルダー内の図書館教育のフォルダーに図書館活用推進のフォルダーを作り、各学年の授業実践を残せるようにした。

| 名前 | 更新日時 | 種類 | サイズ |
|----------------------|------------------|--------------------|--------|
| ～\$を整理して、自動重図鑑を作ろう | 2021/01/08 15:56 | Microsoft Word ... | 1 KB |
| 02学習指導計画 | 2020/10/29 17:38 | Microsoft Word ... | 21 KB |
| 10ワークシート | 2020/10/12 11:08 | Microsoft Word ... | 15 KB |
| 11ワークシート (バスやじょうよう車) | 2020/11/05 19:43 | Microsoft Word ... | 189 KB |
| 12ワークシート (トラック) | 2020/11/05 19:42 | Microsoft Word ... | 208 KB |
| 13ワークシート (クレーン車) | 2020/11/05 19:43 | Microsoft Word ... | 223 KB |
| 14図書 | 2020/10/29 17:30 | Microsoft Word ... | 478 KB |
| 事例を整理して、自動重図鑑を作ろう | 2020/12/23 12:48 | Microsoft Word ... | 24 KB |

図書を活用した授業を行った場合は、「図書・情報活用シート」を記入してもらい、活用した図書はもちろん、Web サイトなど調べ学習の他の資料や学習の様子も残してもらった。また、校内研修を国語で取り組んでいるので、指導案を作成した単元で、調べ学習を取り入れたものについては指導案や子どもたちへの指導資料も保存してもらうことにした。調べ学習のヒントとなる情報カードの書き方指導の PowerPoint や思考ツール等も集まり、子どもたちの実態に合った資料を作る際のヒントとして生かせるようになった。

*** 図書・情報活用シート ***

* 活用学年 4年
 * 活用時期 11月
 * 教科/単元名 国語「世界にはこる和紙」「伝統工芸のよさを伝えよう」

* 図書情報
 ブルーBOX「伝統工芸」「和の文化・伝統」「日本のくらし・伝統」「職人・伝統工芸」「和の文化」
 その内、新潟県の伝統的な工芸品に関する図書 計 52冊
 オレンジBOX「伝統工芸」 40冊
 図書館内の百科事典 (ポプラディアなど) 15冊

その他

| 配架 記号 | タイトル | サブタイトル | 著者名 | 出版社 | 蔵書 有無 | 冊数 |
|----------|------------------------------|--------|--------------|-----|----------|-----|
| | 【教科書から広げる学習】 伝統工芸のよさを伝えよう | | 青山 由紀 | 汐文社 | 無 | |
| | 新潟県の伝統的工芸品 (リーフレット) | | 新潟県 産業労働部 | | 有 | 5冊 |
| | 新潟県地場産地ガイド ブック (リーフレット) | | 新潟県 産業労働部 | | 有 | 35冊 |

* Webサイト情報

| ホームページ名 (企業名 等) | URL |
|--------------------|---|
| 新潟県庁 伝統的工芸品 | https://www.pref.niigata.lg.jp |
| 新潟県庁 伝統的工芸品 匠の手 | https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/shogyoshinko/1356815237813.html |
| 新潟県教育委員会 新潟県伝統的工芸品 | https://www.lalanel.gr.jp/nipc/dento/ |

その他、選んだ伝統的工芸品ごとに協同組合のホームページなどで情報を得た。

* 学習の様子・課題など

・調べ学習について司書の楠先生とTTで指導した。楠先生からは、百科事典の引き方について「百科事典の引きかた」(文:赤木かん子 制作:埼玉福祉社)という紙芝居を使って指導してもらい、その後情報カードの書き方を担任が指導した。情報カードは、疑問に対して見つけた答えを簡潔書きで書くことを重点的に指導した。

・新潟県の伝統的工芸品に絞って調べ学習を進め、リーフレットに仕上げた。県庁から「新潟県の伝統的工芸品」というリーフレットを一人1冊ずつお願いして取り寄せたが、内容が簡潔でとてもよかった。また、「新潟県地場産地ガイドブック」も参考資料としていただき、活用した。

・市立図書館にオレンジBOX「伝統工芸」をお願いし、ブルーBOXの本と合わせて調べ学習を進めた。同じ本が複数冊用意できたので、同じ伝統的工芸品を選んだ子どもたち同士で相談したり、教え合ったりしながら調べ学習を進めることができ、分かったことを共有しやすかった。

3 成果と課題

〈成果〉

- ・小中連携を図ることで、子どもたちにとっての9年間の図書館の活用を考えることができた。その中で「調べ学習の進め方」を共有し、掲示物などの環境の整備にも取り組み、子どもたちに分かりやすく示すことができた。今年度は「探究的な学習」に焦点を当てての連携が中心になったが、図書館だよりの交換・掲示、6年生への中学校からの図書アンケートの実施など、子どもたちの読書活動の継続を意識した取組も始まった。今後もさらに発展させていきたい。
- ・図書館活用のための情報を全職員で共有・活用するサイクルが動き始めた。ブルーBOX とオレンジBOX のリストの共有、「リクエストカード」や「図書・情報活用シート」の活用などようやく仕組みが整った。また「図書館活用年間計画」を新しく作成し、「調べ学習のための知識・技能」を位置付けて、どの教科のどの単元で図書を活用できるかを示した。活用できる図書BOXを職員で共有することもできた。授業に図書を生かす基盤ができたと言える。今後も更新を図り、子どもと職員、図書を結びつける図書館でありたいと考える。

〈課題〉

- ・中学校の国語科の授業を参観させていただき、小学校でのレファレンスカードを使用して、図書館で資料を自ら探し出す経験が不足していると感じた。コロナ禍で、自由に図書館で調べ学習をすることが難しく、今年度は取り入れることを見送ったが、今後はぜひ検討し、中学校での学習につなげていきたい。
- ・子どもたちの「探究的な学習」では、図書館はテーマ決定や情報収集、情報選択など最初の部分を担うことになる。その後のまとめる、発信などを考えると、図書館を出発点とする取組だけでは不十分であると感じた。今回「調べ学習の進め方」を考える際に、総合的な学習の時間の学習過程との整合性や掲示物作りでは、国語との整合性を図ったが、もっと積極的に国語や総合的な学習の時間などとも連携していく必要があると考える。そして、共通の視点で自校の「探究的な学習において子どもたちに付けたい力」を考えていきたい。

4 おわりに

コロナ禍で、GIGA スクール構想が加速度的に進むなど、教育を取り巻く環境が大きく変わろうとしている。今年度、図書館活用推進校として図書館の活用について考え、実践したことは、今後の図書館を生かした「探究的な学習」のあり方を考える上で、貴重な機会となった。何かを調べるといってすぐ「コンピューターで調べよう」と提案する子どもたちである。今後は、図書による調べ学習と、インターネットを使つての調べ学習が両輪となって、学習が進むことになるだろう。今年度、目指す子どもの姿を明確にし、「探究的な学習」において図書館ができることを少し始めることができた。これからもこれらの取組を生かして、子どもたちにとって「探究的な学習」でも身近な図書館であり続けたい。